



# 推せん候補の議席確保に支援を

◇岩手県統一地方選挙(7月から9月)◇

## 選挙日程

▲滝沢市議会議員▼  
7月14日告示/21日投票  
▲盛岡市議会議員▼  
7月16日告示/21日投票  
▲岩手県議会議員▼  
8月30日告示/9月8日投票

\*投票日に投票できない人は、期日前投票で確実に権利行使しよう。



◇県議選・花巻選挙区  
木村幸弘 (59)  
社民党公認・現③  
☎0198-24-3445



◇県議選・盛岡選挙区  
小西和子 (66)  
社民党公認・現③  
☎019-656-1524



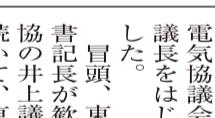
◇盛岡市議選挙  
中村亨 (60)  
社民党推薦・無②  
☎019-658-1111



◇雲石町議選挙  
坂下栄一 (66)  
社民党公認・現⑤  
☎019-692-1996



◇滝沢市議選挙  
日向ゆうこ (62)  
社民党推薦・無①  
☎019-687-2517



◇県議選・滝沢選挙区  
柳村一 (59)  
平環セ推薦・無①  
☎019-681-9320



「全体交流会の行われた会場」

# メンテナンス最適化を図り運動進める 組織拡大を図り運動進める

第26回東日本本部工務協議会交流会

6月15日～16日、零石町篤宿温泉「赤い風車」で、第26回国労東日本本部工務協議会交流会が50人の参加(盛岡14人)で開催され、各工務職場

から設備メンテナンスの最適化以降の職場状況や問題点、職場代表選挙の状況と結果、最重要課題の組織拡大の状況等が討論された。



「会議では14人が発言し交流」

議長に盛岡地本の横内俊博さんを選出しスタート。最初に国労東日本本部・伊藤書記長より、未加入の若手社員の思いと現状として「妊娠中の女性社員が職場の管理者に仕事の軽減を要望したが認められず、国労組員に相談して再度申入れて認められた」ことや組織拡大の状況等の報告がされた。次に同工務協・丸谷議長より、「メンテ最適化」で直轄もP社も仕事量が増えてる現状にあり、モニタリング検査の問題点等を議論し交流を深めて欲しい旨の提起を受けた。全国工務協・湯浅議長からは、「メンテ最

外の参加者も報告され、飲み会を変えて行かないと組織拡大に繋がらない。もう終わりじゃない、今からどうすべきかを考えるべき」等の意見が出された。

夕食交流では国労組員以外の参加者も報告され、飲み会を進めて行くことを確認して丸谷議長の団結ガバローで散会した。

盛岡地方工務協議会 副議長 中村祐幸

第31回東日本本部電気職場会交流会  
「安全とルール」を深く追求  
施策を検証し改善交渉に臨む

第31回東日本本部電気職場会交流会

職場交流会が6月16・17日の2日間、東京都王子「北とぴあ」にて開催され、東日本の各地方から約70人が参加。王子と横浜からは国労に加入了の青年2人も参加し学習と交流を深めました。盛岡地方電気協議会からは、佐藤徳彦議長をはじめ4人が参加しました。

冒頭、東京地方本部の石井書記長が歓迎挨拶し、東京電協の井上議長が地元紹介挨拶。続いて、東日本本部の大沼執

行委員長から東日本本部を取り巻く組織の現状などについて挨拶がありました。東日本電気協議会の大角議長は、「4年前から今年まで電気関係が起因の重大な輸送障害が連続して発生している。」メンテナンスの再構築、以降施策の不備を指摘し改善を求めてきましたが、会社は耳をかざす籠原構内の事故に繋がった。これはメンテ合理化による労働環境の悪化、技術力低下が起因している。「電気部門の変革

2022年の施策でも交渉で指摘してきたことが既に発生している。在来線は4月から一部保守を外注化したが余力がない状況。安全を守るために、しっかりと点検や検証を行い具体的な議論をしていこう」と挨拶しました。

その後各分科会に分かれて討議し1日目の日程が終了。夕食交流では各地本毎に自己紹介と各地から持寄った自慢のお酒を紹介し交流を深めました。

2日目は引き続き各分科会で討議し、その後に集約報告を行いました。「技術継承が進んでいない」「障害対応時、指令の誤指示があった」「変電設備の直轄検査教育の遅れ」「業務区分や保全標準説明が不明確」等、各分科から報告がありました。

各分科の報告を受け大角議長が「施策については各地方からの問題点を検証し集約する。事故に対して『安全とルール』を深く追求し改善交渉に臨む。電気部門の変革で手と向き合い、労働組合の必要性を説明し関わりを深め組織拡大に繋げていく」と集約し、同議長の団結ガバローで閉会しました。

盛岡地方電気協議会 事務長 美濃山司

# 山田線・快速「リアス」で交流

=仙台・盛岡地本家族会/12人参加=



△参加者による記念のスナップ△

6月9日、仙台地本家族会と盛岡地本家族会の交流会に

参加させていただきました。当時は、仙台地方本部から五

十嵐委員長と家族会3名の

方々、盛岡地方本部より菊池

書記長と家族会9名の参加で、

宮古への日帰り旅行が実施さ

れました。仙台地本家族会の

方々と盛岡駅で合流した一行

は、山田線・快速「リアス」

で宮古へ向けて出発。前日まで

の肌寒い気候が一転して朝か

ら汗ばむような暑さで、あら

かじめ用意していた食

事として経費を要することに

も報告されない等の事象が発

生。採用線区が増えた場合、

より精密な検査ができる、結

果として経費を要することに

も報告されない等の事象が発

生。採用線区